（別紙４（２））

事業所名　グループホーム　千 手

作 成 日：平成　28　年　1　月　11　日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		グループホームの今後の在り方について	職員の頑張りで現在まで、8名の看取りを実践しているが、現場を預かる職員の負担軽減と、職員不足を補う、勤務体制を検討していく。	利用者一人ひとりに対して行われる介護サービスの内容を吟味し、身体機能維持に逆行する介護や利用者が意欲的にリハビリに取り組み、自立に向けた介護サービスの実践を目指していく。	１２ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化が進み、車椅子での外出が増えているので、職員に負担をかけず、天気の良い日に、利用者と何時でも外出が出来る環境の整備に取り組んでいく。	職員の絶対数と、職員一人ひとりの意識を高め、介護技術の向上を図りながら、利用者の生きる力を引き出す外出の支援に取り組んでいく。	１２ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。